

民間生薬検定試験(初級、第1回、田村)解答並びに解説

1. 次の3つはバラ科サクラ属の植物の花であるが、それぞれの花の特徴から植物和名を記しなさい。

【解説】バラ科サクラ属の植物は双子葉植物、離弁花類に属し、その花の特徴としては、花弁・萼が5枚、雄蕊は10本ないし多数、雌蕊は1本のものから多数分立するものまで多様である。その中でも薬用に供されるウメ、モモ、アンズの花の特徴を問題としている。

外観			
特徴	花は1節に1～2花の白色又は淡紅色、花柄は短いか、無柄。萼筒は浅い。花期は晩冬～早春。	花は白色又は淡紅色、短い柄がある。萼は有毛、花期は2月～3月	花は淡紅色または白色。5弁または重弁で、春に咲く。
植物和名	(1) ウメ(梅)	(2) モモ(桃)	(3) アンズ(杏)

2. 次の原植物のある部分を調製することで得られる生薬の名前を、下の語句群から選びなさい。

【解説】生薬の原植物名と使用部位並びに生薬名(漢名)を結びつける問題である。特に使用部位に着目すると、オオバコは種子を用いれば車前子となるし、全草を用いれば車前草となる。

原植物	ウメ	アサガオ	イタドリ	ドクダミ	オオバコ
部位	果実	種子	根茎	全草	全草
生薬名	(1) 烏梅	(2) 牽牛子	(3) 虎杖根	(4) 十薬	(5) 車前草

《語句群》 杏仁、桃仁、烏梅、麻子仁、牽牛子、牛蒡子、虎杖根、麻黄根、十薬、ゲンノショウコ、車前子、車前草

3. 薬草について色々な名称がついているが、特に大きく2つに分類して「民間薬」と「漢方薬」に対比させて呼ぶ場合が多い。それぞれについて対比させながら、簡単に説明しなさい。

民間薬とは、日本で古来から伝わり生活の中に溶け込み、自然と伝えられてきたもので、その用い方も、経験や体験などから言い伝えられてきたものである。

漢方薬は、生薬の複合が多く、その組み合わせにも一つ一つの生薬の特長を生かし、理論的に構成されたものである。

【解説】漢方薬だけが科学的に立証されたもの、という議論があるが、民間薬でも薬理作用が解明されたものもあり、一概には結論できない。

4. 最近「未病」という言葉がよく使われるようになってきた。「未病」はそのまま読めば「未だ病まず」となり、病気になる前の状態を示している。しかしこの語句の出典である書物には、未発の疾病状態ばかりでなく、すでに病んでしまった後でも未病を治すことができる、と説いている。「未病を治す」について、あなたの解釈を簡単に述べなさい。

未病とは、現在の時点から進行した病に至る以前の状態を示す。そこで未病の状態を少しでも軽減させ、進行しないように、生活習慣の改善、食餌療法、運動療法、薬物療法（漢方薬・民間薬両方も含む）、物理療法（鍼・灸・指圧・あんまなど）などを行うことを、治未病と考える。補完代替医療や統合医療の根底をなす考え方である。

5. 左欄の生薬と関係のある薬効を線で結びなさい。

生 薬 名	薬 効
杏 仁	利尿、鎮咳、去痰薬として、喘息・気管支炎などの咳嗽、呼吸困難、浮腫などに応用
桃 仁	婦人病に用いる代表的な生薬。産前産後、血の道症や月経不順、更年期障害などに応用
烏 梅	清涼収斂作用、鎮咳、去痰、解熱、止瀉、駆虫、収斂薬として応用

6. 下記の生薬は、形態が似通っており分けるのが難しい杏仁と桃仁である。(1)と(2)を杏仁と桃仁に鑑別し、その理由も述べなさい。

概観		
生薬名	(1)キョウニン(杏仁)	(2)トウニン(桃仁)
理由	外面は褐色～赤褐色。内部(子葉)は白色。扁平な卵円形で一端は鋭く尖る。	形は杏仁に似るが、それより大きく扁平。

7. 「綺麗な花にはトゲがある」とは、よく聞く例え話である。生薬の世界でも、紫色の綺麗な花を付けるトリカブトには、有毒なアルカロイド(アコチンなど)が含まれ、不用意に摂取すると手足の痺れや心悸亢進を起こし、死に至ることもある。さて、私たちに身近な植物であるアサガオの種子にも強烈な作用があり、虚弱な小児や老人、妊婦には慎重に使用することになっているが、その作用は何か。

激しい瀉下作用によって、急激な体力の消耗、脱水などを起こすので、慎重に使用する必要がある。
【解説】牽牛子のもつ強力な峻下作用は、含有されるファルピチンによるもので、腸粘膜を始め下腹部に充血をきたして、蠕動運動を亢進して瀉下効果を現す。

8. 植物と生息地の関係について、右欄と左欄で一致するものを線で結びなさい。

《左 欄》	《右 欄》
ドクダミ	日本全土の陰地、湿地に自生する
オオバコ	日当たりの良い路傍、草地、山林に自生する
イタドリ	海岸から高山まで日当たりの良い場所に普通に自生する

9. 植物の和名とその由来について、右欄と左欄で一致するものを線で結びなさい。

《左 欄》	《右 欄》
ドクダミ	強烈な臭いをもっていることから
オオバコ	幅の広い葉っぱをもつ植物であることから
イタドリ	此の植物の根を食べると痛みが取れることから

10. ドクダミは、生で用いる場合と乾燥品を煎じて用いる場合とで、薬効が異なる。おもに生を用いるのは、どのような場合か、簡単に述べなさい。(ちなみに、ドクダミには抗菌作用をもつデカノイル アセトアルデヒドなど精油成分が0.005%含まれている。)

ドクダミの抗菌作用は、精油成分によるもので、乾燥したり熱をかけると、稀発して効果が薄れてしまう。そこで生の葉を揉んで、其の葉を拓げて傷口に貼ることで、殺菌や化膿止めに応用する。また化膿巣に貼って排膿に、さらに揉んだ葉をそのまま鼻孔に詰めて蓄膿症の排膿に応用する。

【解説】ドクダミの臭いの素は「デカノイル アセトアルデヒド」を中心とする精油成分である。これら物質には、黄色ブドウ球菌や肺炎球菌等の細菌、白癬菌などのカビや、ある種のウイルスの活動を抑える効果がある、と報告されている。ただし精油成分は稀発しやすく、天日干しや、過熱によって成分にロスが生じる。そこで、化膿性疾患の改善や傷口の殺菌、止血や再生にも効果を上げる場合には、生のものを使用する。